

2017年11月16日
東日本旅客鉄道株式会社
大宮支社

観光のお客さまに快適にご利用いただける車両を日光線に投入します！

JR東日本大宮支社では、現在日光線で運行されている205系車両のうちの1編成を、観光でご利用されるお客さまにより快適な移動時間をお過ごしいただける車両として改造します。

改造した車両は「本物の出会い 栃木」デスティネーションキャンペーン開催に合わせて、2018年4月から日光線に投入します。

1 車両の愛称・ロゴマーク

○ 愛称 「いろは」

日光の名所の一つである「いろは坂」と「物事のいろは」を掛け合わせました。

日光への旅の始まりである日光線の車内で、日光の様々な魅力を感じていただきたいという思いを込めています。

○ ロゴマーク



いろは坂の頭文字である「い」をモチーフに、いろは坂の48のカーブを表現する48色で彩りを加えております。背景は日光線の路線カラーであるクラシックルビーブラウンを配色し、形状はいろはの頭文字の「I」とレールの断面をイメージさせる形状です。



いろは坂

2 列車内スペース

○ 改造のポイント

- ・車内内装は木目調とし、シートモケットもクラシックルビーブラウンをベースとした配色で落ち着いた雰囲気とします。
- ・木を使用したつり革に変更します。(優先席付近を除く)
- ・ドア上に案内表示器を新設し、外国語表記に対応します。
- ・客室内蛍光灯をLED化し、明るい車内を提供します。
- ・車いすスペースを1か所から2か所に増やし、バリアフリーを強化します。
- ・Free Wi-Fiを提供できる環境とし、お客さまが観光情報などを得やすくします。
- ・乗降口は片側2扉にして車内空間を確保します。

※画像は全てイメージです。



《快適な大型クロスシート》



《大型荷物置き場の設置》



《フリースペースの設置》

3 エクステリアデザイン

○ デザインのポイント

- ・日光線沿線の魅力を外装デザインに取り入れるとともに、日光線のイメージである「レトロ」を意識したデザインとします。
- ・日光エリアの自然や観光リソース(キスゲ、華厳の滝、男体山・中禅寺湖)、日光の社寺の彫刻などで扱われる様々な動物(龍・鳳凰・唐獅子)をモチーフとしたイラストを側面に配置します。
- ・和の色使い(黒色・黄金色・灰桜色など)で、インバウンドのお客さまを意識したジャポネスク風かつモダンなデザインとします。



○ 車両側面モチーフ (イメージ)

 <p>キスゲ</p>  <p>山地や高山の草原などに群生する多年草です。霧降高原キスゲ平園地などで見られます。</p>	 <p>華厳の滝</p>  <p>日光は四十八滝といわれるくらい滝が多い中で、最も有名とも言える滝です。</p>	 <p>男体山・中禅寺湖</p>  <p>山自体が信仰の対象である男体山と麓に広がる中禅寺湖の美しい風景です。</p>
 <p>龍</p>  <p>日光東照宮の陽明門や唐門、五重塔などの彫刻で見ることができる霊獣です。</p>	 <p>鳳凰</p>  <p>日光東照宮の陽明門や唐門、拝殿などの彫刻で見ることができる霊鳥です。</p>	 <p>唐獅子</p>  <p>日光東照宮の陽明門や唐門、拝殿などの彫刻で見ることができる霊獣です。</p>

4 列車の運行方法について

(1) 運転開始日

2018年4月1日(日)予定

(2) 運行方法

日光線の定期列車として運転します。

※なお、様々な観光需要の高まる時期などでは、栃木県内を中心とした路線で臨時列車として運転する場合があります。